

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 SBIインシュアランスグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7326 URL <https://www.sbiig.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員会長兼社長 (氏名) 乙部 辰良
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 大和田 徹 TEL 03(6229)0881
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	24,768	8.9	2,801	13.5	1,417	6.3
2022年3月期第1四半期	22,748	6.6	2,468	33.0	1,334	25.4

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 $\Delta 1,478$ 百万円 (ー%) 2022年3月期第1四半期 1,816百万円 ($\Delta 32.3$ %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	57.13	ー
2022年3月期第1四半期	53.76	ー

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	189,735	41,594	21.9
2022年3月期	192,109	43,073	22.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 41,468百万円 2022年3月期 42,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2023年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2023年3月期 (予想)	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2023年3月期の配当予想額については未定であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,500	5.8	6,000	1.3	950	6.5	38.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	24,820,530株	2022年3月期	24,820,530株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	112株	2022年3月期	112株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	24,820,418株	2022年3月期1Q	24,820,432株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績等に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

※ 当社Webサイトに決算情報の補足説明資料を掲載しておりますので、ご参照ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績等に関する説明

当社グループの経営戦略上の重点項目でもあるAI・ビッグデータ等を活用した保険サービスに関する取り組みが外部から高い評価を獲得したことで、2022年6月、当社は経済産業省、東京証券取引所及び独立行政法人情報処理推進機構が共同で選ぶ「DX銘柄 2022」に初めて選定されました。DX銘柄は、デジタル技術を活用してビジネスモデル等を抜本的に変革し、新たな付加価値を創出するデジタルトランスフォーメーション(DX)に取り組む企業を、経済産業省、東京証券取引所及び独立行政法人情報処理推進機構が共同で選定するものです。

また、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられたご契約者様を対象に、保険料の払込猶予期間の延長や、災害死亡保険金等の支払事由の範囲拡大、保険金請求手続きにおける必要書類の一部省略などの特別措置を実施するなど、企業の社会的責任を全うするにあたって必要な各種の取り組みを継続的に行っております。

① 当社グループの経営成績

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	対前年同期 増減率 (%)
経常収益	22,748	24,768	8.9
経常利益	2,468	2,801	13.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,334	1,417	6.3

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことが主な要因となり、前年同期に比べ2,020百万円増加し、24,768百万円(前年同期比8.9%増加)となりました。この増収効果により、経常利益は前年同期に比べ333百万円増加し、2,801百万円(同13.5%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ83百万円増加し、1,417百万円(同6.3%増加)となりました。

なお、参考情報として、生命保険事業における特別勘定(※)に係る収益を除いた経常収益について、下記に記載しております。

(※) 変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益及び経常費用に含めて表示します。

<参考情報>

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	対前年同期 増減率 (%)
特別勘定に係る収益を除いた経常収益	21,846	23,795	8.9

② セグメントごとの経営成績

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	経常収益			セグメント利益(経常利益)		
	第1四半期連結累計期間		増減率 (%)	第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	2022年3月期	2023年3月期		2022年3月期	2023年3月期	
損害保険事業	8,787	8,982	2.2	1,087	1,096	0.8
生命保険事業	6,525	8,001	22.6	1,358	1,715	26.3
少額短期保険事業	7,500	7,835	4.5	175	139	△20.6
報告セグメント計	22,814	24,819	8.8	2,620	2,950	12.6
セグメント間消去又は調整	△66	△51	—	△152	△149	—
四半期連結損益計算書計上額	22,748	24,768	8.9	2,468	2,801	13.5

(注) セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

(損害保険事業)

SBIグループの重点施策である「オープン・アライアンス戦略」に沿って、多様な分野の事業法人や地域金融機関との連携に基づいて新たなサービスの提供を開始するなど、顧客基盤の開拓を推進しました。また、がん保険において、AI搭載型OCR(光学式文字読取システム)を用いて必要書類の文字情報を読み取る「AI保険金査定システム」を新たに導入し、保険金の支払査定プロセスにおけるデジタル化を推進するなど、DXによる新たな顧客体験の創出に取り組みました。こうした取り組みの結果、2022年6月末の保有契約件数は1,172千件(前年度末比0.0%増加)となりました。

経常収益は、保険料収入の堅調な増加などにより、前年同期比2.2%増加の8,982百万円となりました。セグメント利益は、この増収効果により前年同期比0.8%増加の1,096百万円となりました。

(生命保険事業)

団体信用生命保険(住宅ローン等のご利用者様向けの団体保険)において、住信SBIネット銀行株式会社や地域金融機関等の既提携先での販売が好調に推移しました。また、個人保険分野においては、主力商品である「インターネット申込専用定期保険」「就業不能保険」が、大手週刊誌の保険商品ランキングにおいて高い評価を獲得しました。加えて、WEB申込ページや見積りページにおける顧客利便性の改善にも継続的に取り組み販売効率の向上を図りました。こうした取り組みの結果、2022年6月末の保有契約件数(団体信用生命保険の被保険者数を含む)は333千件(前年度末比5.5%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の順調な増加などにより、前年同期比22.6%増加の8,001百万円となりました。セグメント利益は、団体信用生命保険における保険料の増収が寄与し、前年同期比26.3%増加の1,715百万円となりました。

(少額短期保険事業)

SBI日本少額短期保険株式会社では、改正宅地建物取引業法により賃貸借契約の完全電子化が可能となったことに伴い、「不動産DX」に一層注力しました。賃貸申込手続きで利用される不動産プラットフォームシステムと保険契約管理システムの接続先を拡大したほか、ネット申込時の新スキームの提供を開始するなど、代理店の保険募集業務の効率化や利便性向上に取り組みました。また、SBIいきいき少額短期保険株式会社においても、LINE公式アカウントからペット保険の保険金請求手続きが可能なサービスを提供開始するなど、更なるお客様の利便性向上に資する取り組みを推進しました。こうした取り組みの結果、2022年6月末の保有契約件数は985千件(前年度末比1.0%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことにより、前年同期比4.5%増加の7,835百万円となりました。セグメント利益は、保険金支払いの増加などにより、前年同期比20.6%減少の139百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、189,735百万円（前年度末比2,373百万円減少）となりました。主な勘定残高は、有価証券124,955百万円（同2,273百万円減少）、現金及び預貯金32,353百万円（同905百万円増加）であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、148,141百万円（同894百万円減少）となりました。主な勘定残高は、保険契約準備金134,335百万円（同358百万円増加）であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が1,417百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が2,899百万円減少したことなどにより、41,594百万円（同1,478百万円減少）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	31,447	32,353
買入金銭債権	4,813	5,559
金銭の信託	147	304
有価証券	127,228	124,955
貸付金	157	157
有形固定資産	705	740
建物	312	365
リース資産	2	2
その他の有形固定資産	390	372
無形固定資産	8,216	8,408
ソフトウェア	4,272	4,534
のれん	3,186	3,137
その他の無形固定資産	757	736
代理店貸	119	67
再保険貸	5,216	5,005
その他資産	12,888	11,059
繰延税金資産	468	425
支払承諾見返	700	700
貸倒引当金	△1	△1
資産の部合計	192,109	189,735
負債の部		
保険契約準備金	133,976	134,335
支払備金	19,929	20,068
責任準備金	110,781	110,430
契約者配当準備金	3,265	3,836
代理店借	423	269
再保険借	4,946	5,342
その他負債	7,874	6,361
退職給付に係る負債	28	27
価格変動準備金	851	882
繰延税金負債	234	223
支払承諾	700	700
負債の部合計	149,036	148,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,375	8,375
資本剰余金	32,061	32,061
利益剰余金	3,558	4,976
自己株式	△0	△0
株主資本合計	43,994	45,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,043	△3,943
その他の包括利益累計額合計	△1,043	△3,943
新株予約権	21	21
非支配株主持分	101	104
純資産の部合計	43,073	41,594
負債及び純資産の部合計	192,109	189,735

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
経常収益	22,748	24,768
損害保険事業	8,752	8,950
保険引受収益	8,593	8,639
正味収入保険料	8,470	8,635
積立保険料等運用益	3	4
支払備金戻入額	119	—
資産運用収益	155	305
その他経常収益	4	4
生命保険事業	6,520	7,997
保険料等収入	4,331	5,541
保険料	3,420	4,215
再保険収入	911	1,326
資産運用収益	2,086	1,566
利息及び配当金等収入	543	636
有価証券売却益	609	790
有価証券償還益	—	1
為替差益	1	135
その他運用収益	29	3
特別勘定資産運用益	901	—
その他経常収益	102	889
少額短期保険事業	7,474	7,820
保険料等収入	7,351	7,719
資産運用収益	0	0
その他経常収益	123	101
経常費用	20,279	21,966
損害保険事業	7,668	7,869
保険引受費用	5,654	5,261
正味支払保険金	4,657	4,640
損害調査費	1,072	1,010
諸手数料及び集金費	△793	△1,003
支払備金繰入額	—	344
責任準備金繰入額	716	268
その他保険引受費用	0	0
資産運用費用	1	286
営業費及び一般管理費	2,007	2,321
その他経常費用	4	0

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
生命保険事業	5,162	6,280
保険金等支払金	3,497	4,027
保険金	569	1,060
年金	207	154
給付金	302	336
解約返戻金	935	564
その他返戻金	372	371
再保険料	1,110	1,538
責任準備金等繰入額	485	—
責任準備金繰入額	485	—
資産運用費用	38	966
支払利息	0	0
有価証券償還損	—	4
金融派生商品費用	5	106
その他運用費用	32	61
特別勘定資産運用損	—	793
事業費	1,060	1,146
その他経常費用	80	139
少額短期保険事業	7,296	7,668
保険金等支払金	4,606	4,920
責任準備金等繰入額	93	103
事業費	2,588	2,630
その他経常費用	6	14
その他	152	149
経常利益	2,468	2,801
特別損失	27	31
固定資産等処分損	—	0
価格変動準備金繰入額	27	31
契約者配当準備金繰入額	727	1,015
税金等調整前四半期純利益	1,713	1,755
法人税及び住民税等	479	289
法人税等調整額	△106	41
法人税等合計	372	330
四半期純利益	1,340	1,424
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,334	1,417

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,340	1,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	476	△2,903
その他の包括利益合計	476	△2,903
四半期包括利益	1,816	△1,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,809	△1,481
非支配株主に係る四半期包括利益	7	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益 (注) 1						
外部顧客への経常収益	8,752	6,520	7,474	22,748	—	22,748
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	35	5	26	66	△66	—
計	8,787	6,525	7,500	22,814	△66	22,748
セグメント利益 (注) 3	1,087	1,358	175	2,620	△152	2,468

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△152百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益 (注) 1						
外部顧客への経常収益	8,950	7,997	7,820	24,768	—	24,768
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	32	3	15	51	△51	—
計	8,982	8,001	7,835	24,819	△51	24,768
セグメント利益 (注) 3	1,096	1,715	139	2,950	△149	2,801

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△149百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。